

電路具体案

一、前々度電路を通りきり電路作業に着手し居るも、はた通常に本給依頼金を以て本給給にせしむべくも、生活に維持し居るも、不足の第一、冬季に危険な作業に従事し居るがため、云々
又、他従業員に比しは、はた多く且つ、兵後の義務多し、予備日給を受けたこと、たゞ多く、
氏の場合、前局より受けた予備金は、増分の給金を本給の二割、思ひ少く、為め、是處の懸念、
上なり

斯くして、國家に對する義務を、負ふべき公共事業に従事する者、は、其の義務と
受けし、予備金の最も甚しき事あり、

茲に以て、不安定分の本給額を、度々、と、毎月平均収入率、既、西、七、八、を、以て、
此、以て、吾々の生活の安定を、計ら、此、七、八、率と、二月、の、賃、額、を、

電路 賃 支 部

賃 額 考

私共は私共の現在の生活上の實際から考へて左の事項を認容せらるることを望願いた
し得す。

- 一、現在各技工に支給せしむる、其の定時間外二倍の労働手当、即ち二分六厘三
 歩に引上げ、本給に繰入れ増分額を、度々、本給として支給せらるること、
- 右理由は私共、毎、冬、との二期に於て収入に六分に差か付ます、夏期は三分以上の増
 分か付ます、が、その二分六厘以上は、純粋に付さず、否、十一月以後は、来、年、三、月、末、頃、有
 り、は、一分三厘位となり、また、私共は、四季共に生活費に差は付さず、と、殊に、冬、期、は、薪、炭、に
 比し、又は、着、類、に、せ、よ、夏、期、は、餘、分、に、経、費、か、か、り、多、す、然、し、に、出、費、の、多、い、時、期、に、於、て
 収入を減出する、や、は、胸、に、及、ぶ、当、ら、ず、は、然、る、名、痛、を、患、病、し、る、不、幸、多、す、し、か、私、共、は、此、の
 不、幸、を、支、へ、し、行、く、事、が、出来、ぬ、不、幸、甚、し、其、結果、一、日、の、欠、勤、不、慮、し、人、士、三、四、日、を、臥、床、す、と、云
 ぶ、状態、が、殆、ど、あ、る、不、幸、